

● 「すらすらリスト」とは児童生徒が自分の学習について振り返るためのシートです。

このリストは、授業や単元が終わった時に、「こんなことを言えるようになった」とか、「この表現は言えなかった」など、児童生徒が自分の学習についての振り返ることができるよう、学習内容の理解の程度について、児童生徒に自己評価させるために、英語ノート1、2や教科書で扱う表現を一覧にしました。

これは、教員が児童生徒の学習状況を把握するためにも活用できます。また、単元が終わったときに、学習した英語の表現がすらすら使えるようになるという願いを含めて「すらすらリスト」と名付けました。このリストに、各学校でめざす子ども像をもとに実践されている小学校外国語活動や中学校外国語(英語)において扱う表現を加えるなどしてアレンジしていただくようサンプルとして示しています。

すらすらリスト (英語ノート1用)

～授業で使った表現を確認しよう～

		学年		5年 組 番		参考			
		名前							
単元	番号	<英語での表現>	① 英語の意味がわかる	② 相手が話した英語の意味がわかった	③ 英語で伝えることができる	④ 相手に英語で伝えることができた	<日本語での表現>	番号	単元
Lesson 1 世界の「こんにちは」を知ろう	1	Hello. 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	2	What's your name? 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	3	My name is Ken. 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	私の名前はケンです。	3	Lesson 1 世界の「こんにちは」を知ろう
	4	Nice to meet you. 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	はじめまして。	4	
	5	Nice to meet you, too. 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	こちらこそ、はじめまして。	5	
6	How are you? 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ご機嫌いかがですか。	6		
7	I'm fine. 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	元気です。	7		
Lesson 2 ジェスチャーをしよう	8	I'm happy. 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	うれしいです。	8	Lesson 2 ジェスチャーをしよう
	9	I'm hungry. 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お腹がすいています。	9	
	10	I'm sleepy. 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	眠いです。	10	

②欄と③欄のあいだ(波線部分)で山折りをする。

【表現の理解】を自己評価 ①欄と③欄を活用
1つの単元が終わるごとに、授業の最後の5分程度で、児童生徒に振り返らせる。

① <英語での表現>欄の英語の意味がわかるかをチェックする

③ <日本語での表現>欄の日本語を英語で表現することができるかをチェックする。

【表現の活用】を自己評価 ②欄と④欄を活用
いくつかの単元で学んだ表現を使い、それらを活用する場面を設定し、活動させる。

② 相手が使った英語の意味や内容がわかったかをチェックする。

④ 相手に英語で伝えることができたかをチェックする。

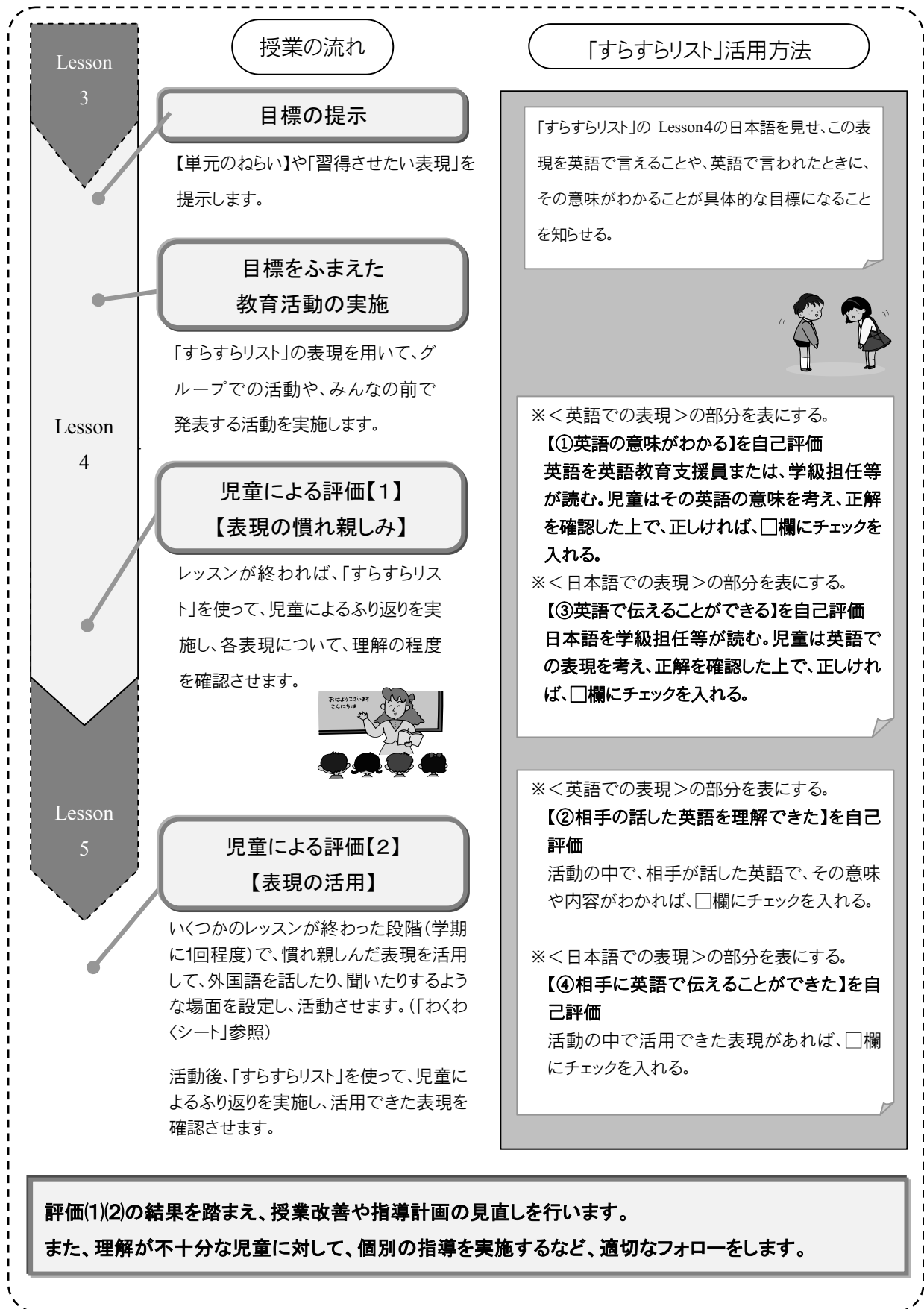
(活用の工夫)

Lesson ごとのシート、携帯用、教室掲示用、ノート添付用、家庭学習用など、さまざまな大きさのリストを用意するなどの工夫が考えられます。また、年間を通して持てるような工夫が必要です。

(効果の検証)

自己評価後、「すらすらリスト」を集めて、児童・徒の理解度や定着度を把握することが大切です。児童生徒の理解度に応じて、次からの指導において理解度の低いところを何度も繰り返し練習するなど、指導方法の工夫・改善をし、効果検証します。

● 「すらすらリスト」活用の流れ



● 「わくわくシート」とは児童が慣れ親しんだ表現を実際に活用するためのシートです。

小学校外国語活動においては、英語を使って積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するために、各単元の終わりに、実際の場面に近い状況での活動を計画します。

コミュニケーション活動においては、単なるパターン練習にならないように、相手を意識し、英語を話す必然性が感じられる自然な場面設定が大切です。そのため、単元の終わりに、これまでに習った表現を使って、自分の思いや考えを伝えられるような場面を設定するとともに相手を意識した活動ができるよう「わくわくシート」を作成しました。

「わくわくシート」は、単元のねらいに応じて、インタビュー活動やスピーチ、ショー & テルや絵本の読み聞かせなどさまざまなことが考えられます。ペアやグループで話し合い、話す内容を考え、活動後、どんな内容が話せたか、友だちや英語教育支援員からどんな内容を聞き取れたかを振り返り、自己評価するときにも活用できます。

● 「わくわくシート」活用の流れ

